



Giovanna X CHEVROLET



米国屈指のラグジュアリー系ホイールメーカーが、アメリカの魅力と最大級アビリティを備えたプロデュースするGiovannaエディション。無敵、最大の長どころはホイール(写真はKILIS 22x9J+P22x10J)なのだが、他にスペシャルな刺繍入りヘッドレストをはじめ、ゼレット社立でのフェニックスアットアッシュプレート、専用フロアマット等がインクルードされる。この所有欲を大いに満たしてくれるプレミアムなパーツ類は、Giovannaエディションを手にしたオーナーにのみ与えられる特権である。

CHEVROLET CAMARO RS 1T Giovanna Edition



Giovanna(シオバンナ)と言えば、ハリウッドのセレブからオイルマネーで動く中東の王族貴族達までが御用達にするアメリカ屈指のホイールメーカー。先鋭的かつ独創的、それでいて高級感まで持ち合わせる美しいデザイン性で、圧倒的なブランド力を誇るラグジュアリー界のトレンドリーダーだ。

そんな時代の寵児がアメリカ最強の自動車メーカーであるGMと手を組んでプロデュースするのが、完全限定モデルとしてデリバリーされるマニア垂涎のGiovannaエディション。これまでもハマーH2やキャデラック・エスカレード、リンカーン・ナビゲーター等、魅惑のスーパーカーモデルを輩出している人気シリーズである。

そして今、10作目のGiovannaエディションとして日本上陸を果たすのが、キャデラック・シボレー・別立店が独占販売を手がけるカムロだ。最大のアビリティポイントとはカスタマイズモデルでありながら、合法的な正規ディーラー車であるという事実。最大径となる22インチホイールに際しても、日本国内の車検制度に対応するJWLの認可を確保、大手を振って全国のディーラーへ乗り付けられるGMジャパン公認車となっている。

また、特徴的なGiovannaのビッグリム以外にも随所に専用パーツを標準装備。ヘッドレストを筆頭にフェニックスアットアッシュプレート、果てはフロアマットにまでGiovannaの文字が刻まれて

いる。ディフュンダーワークス製のアルミ削り出しの専用パーツ群に限っては、マットブラックの他、クローム及びブラック&ポリッシュの3種からチョイスも可能だ。加えて、これらのパーツは補修など一定の条件下を除き、単品販売は行われない完全限定プロダクトなのだ。

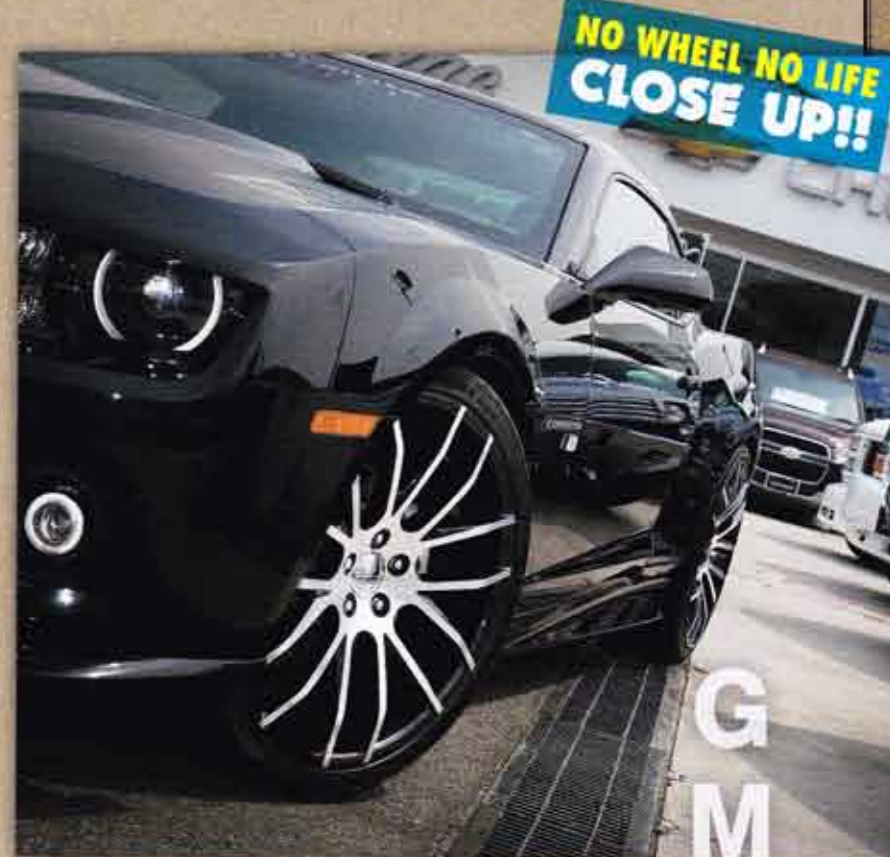
気になるプライスはカムロのRS-LT(V6/3600cc)ベースで530万円、上級グレードのSSRS(V8/6200cc)ベースが635万円と想像以上にリーズナブル。なにせGiovannaのホイール

だけでも市場価格が1本ウン十万円はする代物である。これにプライレスな数々の専用装備を施し、GMライセンスプロダクトとしてメーカー公認のお届けまで得ているのだ。メーカーお任せのモデルでは物足りない、あるいは人とはちがう自己主張を染しみたい、そんな個性派にぜひ乗りこなしてもらいたい。

ちなみに取材車両はオーナーM氏独自のカスタマイズも施されており、Giovannaエディションならではの魅力的なスタイリングを具現させた北米でオプション展開される純正エ

アロに加えて、マットカーボン調のデカールメイクも施されている。もちろん同様のカスタムは車両購入時あるいは任意のタイミングでオーダーメイドも可能。それもこれも正規ディーラーでありながらアメリカ本国の最新トレンドに精通した同店ならではのアドバンテージである。

単にホイールを履くだけでなく、統一されたブランドによるトータルコーディネートこそがGiovannaエディションの真骨頂。同時にメーカー公認の安心感が得られる唯一無二の存在とも言えるだろう。



アフターマーケットで超絶人気のビッグリムを履いた新車が正規ディーラーで手に入る!? そんな従来の既成概念をひっくり返すカラクリとは……米国ビッグスリーのGMとラグジュアリーホイール界の雄、Giovannaのコラボレートで夢の強力タッグが実現した。

TEXT&PHOTO: 塩谷佳史 Yoshifumi Shitani

MONZA MECCA KILIS

好みに合わせて
ホイールチョイス可能。

GMジャパン公認のカムロ Giovanna エディションではKILIS以外にも軽量化を極めた特造2ピースモデル MONZAやMECCA等10種以上から好みのホイールをチョイス可能だ。

GM
公認の
実力。

